

始良市校区まちづくり事業

協議会名：柁城校区コミュニティ協議会

事業名：地域おこし～かもだ夏祭り共催事業

参加人数	約2,000名(今回増加者約500名) (各種行事参加者総数)
------	------------------------------------

【事業の内容】

柁城校区の中心街でありながら住民の高齢化や少子化・若い世代の地域離れ等が進み年々衰退の傾向にあることが懸念されている『かもだ通り』の活性化を目指して、柁城校区コミュニティ協議会が初めての試みとして通り会と連携し、恒例のかもだ祭りにいろいろな露店を出すなどの形で共催することにより、かつての賑わいを取り戻し、ひいてはまちづくり・地域おこしにつなげる。

① 6月5日 運営委員会

今年度の年間活動計画とともに始良市校区まちづくりの新規事業への取組みについて、当コミュニティ協議会で立案した「かもだ夏祭り共催事業」の目的や活動内容等について説明し意見交換、共通理解を図った。

今後の取組みについてその方向性が明確になり次の自治会長会に提案し校区全体の取組みとなるようにすることを確認し合った。

1



② 6月7日 自治会長会

運営委員会の話し合いを基に、始良市校区まちづくりの新規事業への取組みについて、当コミュニティ協議会で立案した「かもだ夏祭り共催事業」の目的や活動内容等について全自治会長に詳しく説明し協力を要請した。

2



③ 当日朝のもちつき・於里公民館

できるだけ柔らかい餅を提供するため、餅つきは当日午前9時より於里公民館にて始めた。和気あいあいとした雰囲気の中で係が協力し合ってたちまち12kgの餅の用意ができた。

3



事業実施スケジュール	6月 5日	運営委員会
	6月 8日	自治会長会
	6月19日	総務部会
	6月20日	文化地域推進部会
	6月～7月	通り会との情報交換(随時)
	6月11日	保健所との連携・相談
	7月9日	各ブース担当の諸準備計画
	7月27日	午前中,餅つき・道具の準備
	7月27日	かもだ祭り
8月19日	運営委員会	

④当日は、「人形劇ピノキオ」のグループ5人の舞台演技とともに「焼きもち」の販売と「綿あめ」の実演体験コーナー及び「万華鏡と時計付きペン立ての手作りリサイクル作品」の販売の露店を出した。焼きもち・綿あめには長蛇の行列ができるほどの賑わいで親子連れ・孫連れの高齢者等に大好評だった。手作り作品は売れ行きが伸びず、かもだ祭りの雰囲気にもそぐわないことが分かった。12月の師走市で捲土重来を期したい。

4



南日本新聞 令和元年7月31日(水)



商店街活性化へ
かもだ祭り出店
柁城校区コミュニティ協
始良市加治木の中心
商店街で27日あった
「かもだ祭り」に、柁
城校区コミュニティ協
議会が初出店した。手



作りの焼き餅や綿あめなどを販売し、商店街活性化に一役買って出たII写真。
会員の中から「かもだ想い通り」の現状をみて、振興に役立ちたいという声があり、商店街側に相談。祭りに参加することになり、万華鏡などの販売品を3カ月前から手作りした。
当日は歩行者天国になった商店街で、会員約30人が接客した。綿あめは行列ができる人気で、親子連れが写真を撮って楽しんでいった。
協議会の今村忠会長(76)は「商店街と連携して知恵を出し合い、街づくりに努めたい」と話した。

(有村美千代)